

○津山工業高等専門学校地域・国際交流実施規程

平成 21 年 2 月 24 日
規 程 第 3 号

改正 平成 21 年 8 月 25 日規程第 26 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、津山工業高等専門学校の教育課程に基づく「地域・国際交流Ⅰ及び地域・国際交流Ⅱ」(以下「交流」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第 2 条 地域社会交流または国際交流を、主体的に計画しそれを実施することにより、地域及び諸外国等の現状について体験的に考え、さらに今後一人の人間として社会的に生きるとは何かということについて深く学習することを目的とする。

(交流実施機関)

第 3 条 交流は、校長が指定する交流機関において行うものとする。

(交流実施時期)

第 4 条 交流の実施時期は、原則として校長が適切と認めた時期に行うこととする。

(履修手続)

第 5 条 交流を履修しようとする学生(以下「交流生」という。)は、交流を履修しようとする年度の前年度の適切な時期までに担当教員を決定し、担当教員に交流計画書(別紙様式 1)を提出し、交流を実施することの了解をとらなければならない。その後、所定の期日までに交流履修願(別紙様式 2)等必要書類を校長に提出しなければならない。

2 校長は、前項の書類に基づき、関係交流機関へ依頼するものとする。

(経費)

第 6 条 交流に要する経費は、原則として交流生の負担とする。

(交流責任者及び担当教員)

第 7 条 交流責任者は、一般科目・文科系学科長とし、担当教員は本校教員とする。

2 担当教員は、交流生の提出した計画書をもとに、そのシラバスを作成しなければならない。

3 交流責任者及び担当教員は、交流機関の把握等を行うものとする。

(報告)

第 8 条 校長は、交流実施証明書(別紙様式 3)の提出を交流機関へ依頼するものとする。

2 交流を履修した学生は、交流終了後、所定の期日までに交流報告書(別紙様式 4)を、担当教員を経て、交流責任者に提出しなければならない。

(評価及び単位の認定)

第9条 交流責任者は、次により交流の成果を評価し、それに基づき、教務委員会で単位の認定を行うものとする。

- (1) 交流Ⅰの単位を1単位、交流Ⅱの単位を1単位とする。
- (2) 交流の単位は、履修1日は8時間を上限として定め、交流Ⅰにおいては30時間以上をもって単位とする。交流Ⅱにおいては60時間以上をもって単位とする。
- (3) 交流Ⅱのみを取得した場合は、交流Ⅰ及びⅡの単位を認定する。
- (4) 交流の評価は、第5条に規定する交流計画書、第8条に規定する交流実施証明書及び交流報告書に基づき100点法で行うものとする。
- (5) 単位の認定は教務委員会において行うこととする。交流生は、交流単位認定願(別紙様式5)を提出し、単位認定の申請を行うこととする。

(守秘義務)

第10条 交流生は、交流において知り得た当該機関に係る秘密を漏らしてはならない。本校卒業後においても同様とする。

(交流中の災害等)

第11条 交流中に災害などの事故があった場合は、校長は速やかに必要な措置を講ずるものとする。

(保険)

第12条 交流生は、交流に当たり傷害保険及び賠償責任保険に加入するものとする。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、交流に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第14条 交流に関する事務は、学生課教務係において処理する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年8月25日規程第26号)

この規程は、平成21年10月1日から施行する。

交流責任者 (一般科目・文科系学科長)	担当教員	学級担任

地域・国際交流計画書

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 番

氏 名

下記のとおり、計画しましたので提出します。

記

科 目 名	・地域・国際交流 I	・地域・国際交流 II
交 流 機 関 名		
交 流 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (時間)	
担 当 教 員		
計 画 (動機や目的, スケジュールなどを具体的に記入する。記入欄が不足する場合は別紙を付けてもよい)		
そ の 他		

交流責任者 (一般科目・文科系学科長)	担当教員	学級担任

地域・国際交流履修願

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 番

氏 名

下記のとおり、履修を行いたいので、御許可くださるようお願いします。

記

科 目 名	・地域・国際交流 I	・地域・国際交流 II
交 流 機 関 名		
交 流 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (時間)	
担 当 教 員		
そ の 他		

地域・国際交流実施証明書

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

住 所

機関名等

代 表 者

下記のとおり、当機関において、交流を行ったことを証明します。

記

学 校 名	津山工業高等専門学校				工学科	第	学年
授 業 科 目	・地域・国際交流Ⅰ(30時間以上) ・地域・国際交流Ⅱ(60時間以上)						
氏 名							
交 流 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (時間)						
交 流 内 容							
講 評	評 価	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや劣る <input type="checkbox"/> 劣る					
	交流態度 についての 総合所見						
	出席状況	出席 日	欠席 日	遅刻 日	早退 日		
そ の 他							

交流責任者 (一般科目・文科系学科長)	担当教員	学級担任

地域・国際交流報告書

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 番

氏 名

下記のとおり，交流を行ってきましたので報告いたします。

記

科 目 名	・地域・国際交流 I	・地域・国際交流 II
交 流 機 関 名		
交 流 期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (時間)	
担 当 教 員		
交 流 内 容 (当初の計画どおり実施できたか，参考になったことなどを具体的に記入する。記入欄が不足する場合は別紙を付けてもよい)		
そ の 他		

※単位認定に必要と認めるときは，本報告書とは別の報告書等の提出を求められることがある。その場合は，指示に従うこと。

交流責任者 (一般科目・文科系学科長)	担当教員	学級担任

地域・国際交流単位認定願

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 番

氏 名

下記のとおり，履修しその成果が得られましたので，単位の認定をお願いいたします。

記

科 目 名	・地域・国際交流 I ・地域・国際交流 II
単 位 数	単位
交 流 機 関 名	
交 流 期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (時間)
担 当 教 員	
そ の 他	